



# 横浜市立みなと赤十字病院



- 向山 仁 部長 補綴 専門医 指導医
- 中島 雄介 副部長 口腔外科専門医
- 川島 麻美 口腔外科
- 高坂 光 口腔外科(昭和大学出身)
- 八幡 俊亮 歯科研修医(昭和大学出身)
- 小田倉航太郎 昭和大学歯科研修医
- 高澤 充知 鶴見大学研修医
  
- 吉住 結 (さいたま赤十字病院)
- 歯科衛生士4名 助手1名 受付1名

# 研修内容

## 口腔外科症例

抜歯、粘膜疾患、顎関節症、歯性感染症  
→地域歯科からの紹介が多いです

## 医科症例の歯科治療

- 入院患者の口腔管理
  - 化学療法前
  - 肺炎
- う歯治療
- 義歯治療

# 研修医のある1日

- 8時30分 歯科ミーティング  
外来受診患者の診察、処置
- 10時～ 手術室にて静脈内鎮静法下手術の術者
- ①ラインの確保
  - ②手術施行(智歯抜歯術が多い)
- 13時～ 外来受診患者の診察、処置
- 16時～ 病棟患者の往診  
手術所見、入院サマリーの記載  
手術の振り返り

# 研修生の担当患者一覧(自験症例)

201x年	計	顎関節	一般歯科	粘膜疾患	顎骨嚢胞	軟組織嚢胞	口腔管理	外傷	炎症	歯牙疾患	歯周組織疾患	智歯
4月	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0
5月	26	2	3	2	1	0	15	0	1	0	2	0
6月	28	3	0	2	1	0	17	0	1	1	2	1
7月	39	0	3	1	1	1	25	0	3	1	0	4
8月	31	0	0	2	1	0	20	1	1	2	1	3
9月	12	0	0	2	0	0	9	0	1	0	0	0
総計	140	5	6	9	4	1	89	1	8	4	5	8

# 私たちが考えるあるべき研修

- 高齢化社会
  - 歯科疾患だけの患者さんは少ない
    - (歯科疾患は大学や歯科診療所で深く学ぶ必要)
  - いろいろな疾患をもっている患者さんの歯科治療が必要
  - 医学的知識は必要
  - 病院歯科では自分が担当する症例を通じて、医学的知識を日常臨床の中で習得できます。
    - 自分で勉強する努力は必要

# みなと赤十字病院の研修の特徴

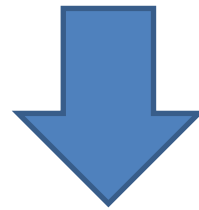
- 当院研修医の智歯抜歯担当患者は、外来・入院合わせて半年間で**20件**以上です。
- 医科病院のなかの歯科なので、他科との連携を密にとっています。
- 救急からの紹介で、外傷患者も多いです。  
→骨折、歯の破折、脱臼、顎の脱臼など

# みなと赤十字病院での研修の実際

- 実践的研修
  - 見学のみを希望する研修生向きではありません。
- 電子カルテに慣れるまでは、院内往診の口腔管理依頼症例からはじめてゆきます。これにより歯科診療を通じて医学的知識の習得していただきます。
- 医療面接ができ、電子カルテが使える様になったら、実践的に外来で患者を担当し、必要な症例には主治医として入院加療を担当します。

# みなと赤十字病院では

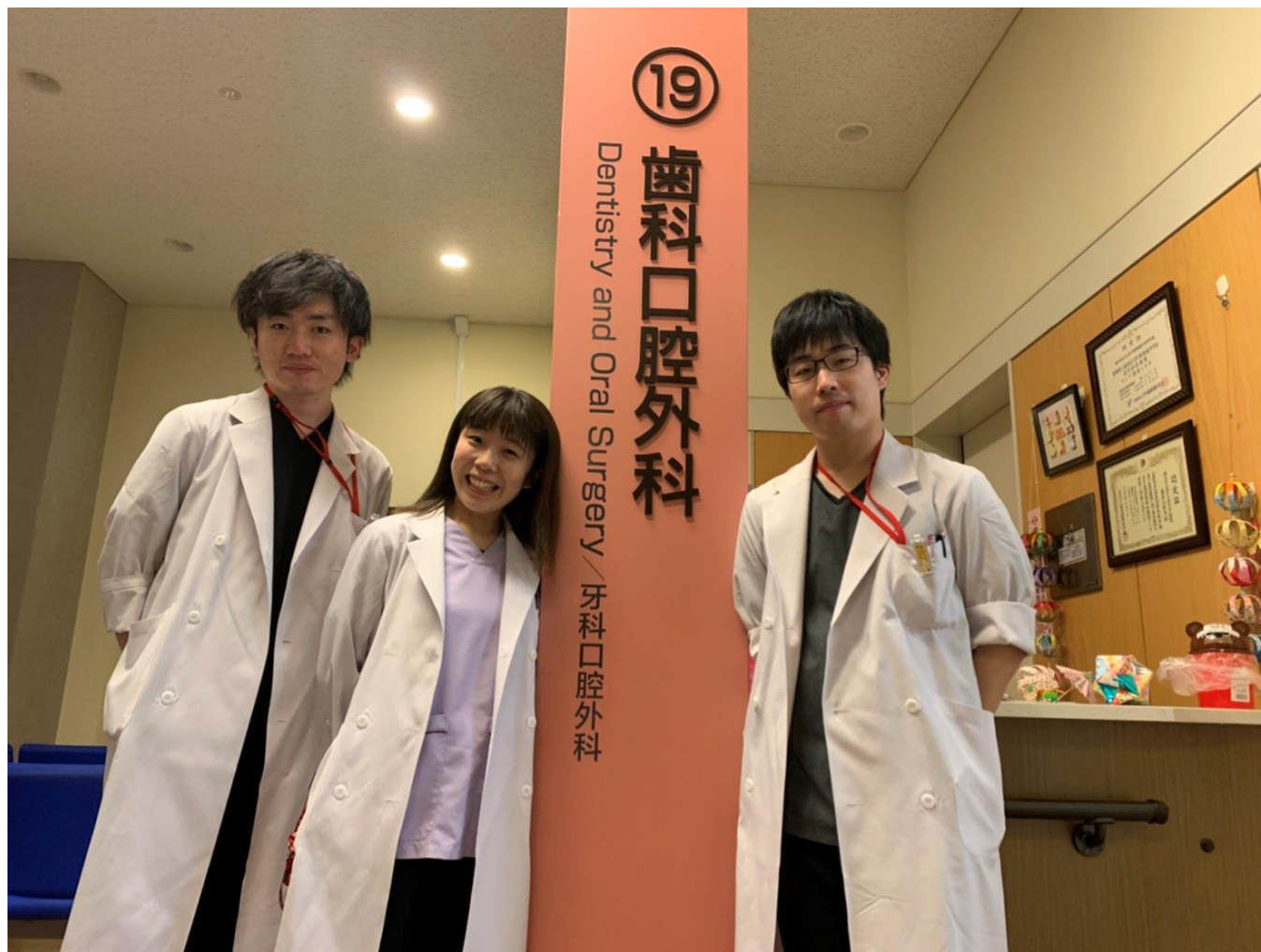
- 一生懸命、自分の限界まで、研修をしてみたい
- 座学とは全くことなる実践の世界に触れたい
- 高齢化社会を勉強したい



- 大学の臨床研修とは異なり、指導医はいつでも近くにいます。
- やる気になれば、保存、補綴治療も可能です。



# ご応募お待ちしております！！



※昭和大学卒業生です



# 横浜市立みなと赤十字病院

当院の詳細と歯科口腔外科の症例などについては、  
[https://www.yokohama.jrc.or.jp/medical\\_part/medical\\_view.html?belong\\_code=22#](https://www.yokohama.jrc.or.jp/medical_part/medical_view.html?belong_code=22#)

をご覧ください。

連絡先：横浜市立みなと赤十字病院

臨床教育研修センター

kenshu@yokohama.jrc.or.jp